

コメント

1.手足口病

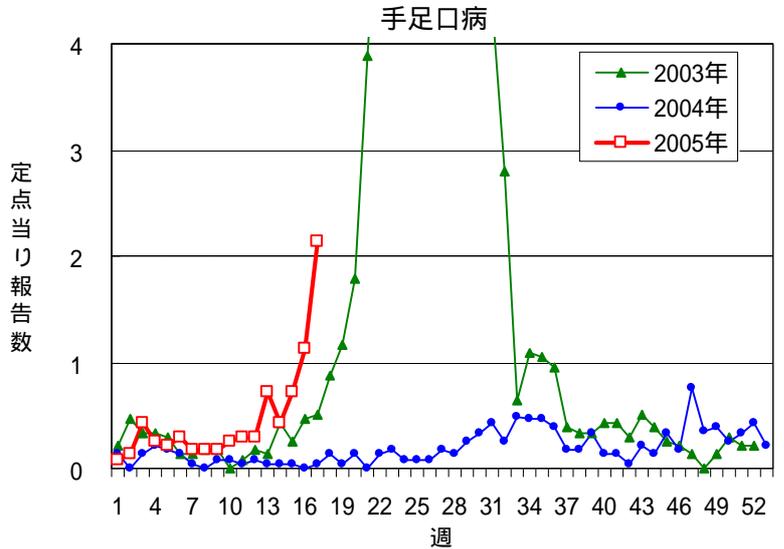
定点当り2.13人と3週続けて増加しています。流行期に入ったものと考えられ、今後の動向に注意が必要です。中区では5.0人と特に多くなっています。

2.インフルエンザ

定点当り7.86人とほぼ横ばいとなっています。依然として、この時期としては報告数が多くしばらくは注意が必要です。安芸区28.0人、佐伯区10.8人と注意報レベル(定点当り10人)を超えています。

3.流行性耳下腺炎

定点当り2.46人とやや増加しています。南区では6.0人と特に多く、東区、安佐北区3.0人、西区2.7人、安芸区2.5人となっています。



5類感染症報告状況 (定点把握対象分)

疾患名	報告数	定点当り	平均 過去5年間 (注1)	発生記号	疾患名	報告数	定点当り	平均 過去5年間 (注1)	発生記号
インフルエンザ(注2)	291	7.86	0.63	⇒	麻疹(注3)	1	0.04	0.13	
咽頭結膜熱	3	0.13	0.07		流行性耳下腺炎	59	2.46	0.68	⇒
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	27	1.13	1.25	⇐	RSウイルス感染症	-	-	-	
感染性胃腸炎	142	5.92	7.83	⇐	急性出血性結膜炎	-	-	0.05	
水痘	20	0.83	2.08	⇐	流行性角結膜炎	4	0.50	1.13	
手足口病	51	2.13	0.15	⇒	細菌性髄膜炎	1	0.14	-	
伝染性紅斑	9	0.38	0.33		無菌性髄膜炎	-	-	-	
突発性発疹	16	0.67	0.82		マイコプラズマ肺炎	-	-	0.28	
百日咳	-	-	0.01		クラミジア肺炎(注4)	-	-	-	
風疹	-	-	0.05		成人麻疹	-	-	0.03	
ヘルパンギーナ	-	-	0.11						

急増減	↑	↓	前週と比較しておおむね1.2以上の増減
増減	↗	↘	前週と比較しておおむね1.15～2の増減
微増減	↔	↔	前週と比較しておおむね1.1～1.5の増減
横ばい	⇐		ほとんど増減なし

一時的な変動と考えられる場合は、前週との比較ではなく傾向を示しています。また報告数が少なく傾向の判断が不適切と思われるものについては、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数 37 (小児科定点含む)
 小児科定点数 24
 眼科定点数 8
 性感染症定点数 9
 基幹定点数 7

(注1) 過去5年間の同時期平均(定点当り)
 (注2) 高病原性鳥インフルエンザを除く
 (注3) 成人麻疹を除く
 (注4) オウム病を除く

1類～5類感染症報告状況 (全数把握対象分)

報告はありません。

5類感染症報告状況の推移 (定点把握対象分)

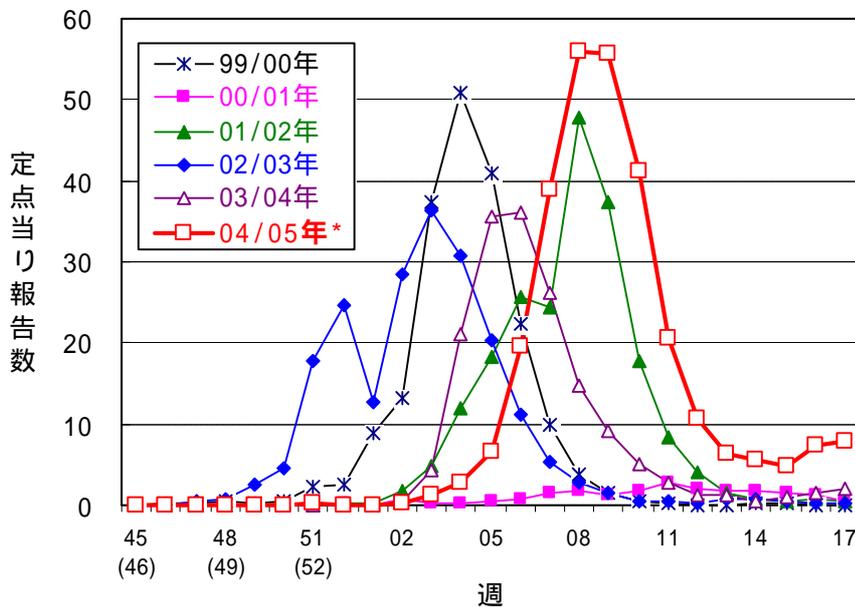
報告数	広島市	第13週	第14週	第15週	第16週	第17週	インフルエンザ (注1)	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	風しん	ヘルパンギーナ	麻しん (注2)	流行性耳下腺炎	RSウイルス 感染症	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ 肺炎	クラミジア肺炎 (注3)	成人麻しん
							232	3	21	201	28	17	6	12	3	-	-	-	63	-	-	11	-	-	1	-
定点当り	広島市	第13週	6.27	0.13	0.88	8.38	1.17	0.71	0.25	0.50	0.13	-	-	-	2.63	-	-	1.38	-	-	0.14	-	-	-		
	第14週	5.70	0.08	0.83	8.33	1.21	0.42	0.33	0.71	0.08	-	-	-	1.96	-	-	0.25	-	-	0.14	-	-	-			
	第15週	4.95	0.21	0.63	7.08	0.92	0.71	0.21	0.88	0.08	0.04	0.04	-	2.46	0.08	-	0.25	-	0.29	-	-	-	-			
	第16週	7.30	0.13	1.46	6.67	1.17	1.13	0.33	0.54	0.04	0.04	0.04	-	2.17	-	-	0.63	-	0.29	-	-	-	-			
	第17週	7.86	0.13	1.13	5.92	0.83	2.13	0.38	0.67	-	-	-	0.04	2.46	-	-	0.50	0.14	-	-	-	-	-			
全国	第15週	3.75	0.17	1.23	5.51	1.47	0.17	0.22	0.68	0.01	-	0.13	-	1.03	-	-	0.03	0.74	-	0.02	0.26	0.01	-			
	第16週	3.10	0.20	1.44	5.81	1.52	0.21	0.27	0.69	0.01	0.01	0.15	0.01	0.93	-	-	0.02	0.65	0.01	0.02	0.21	0.02	-			

(注1)高病原性鳥インフルエンザを除く (注2)成人麻しんを除く (注3)オウム病を除く

新たに判明した病原体検査結果

診断名	患者 年齢	性別	発症 年月日	検査材料	検出病原体
咽頭結膜熱	6	男	2005/03/22	咽頭拭い液	アデノウイルス3型
咽頭結膜熱	1	男	2005/04/01	咽頭拭い液	アデノウイルス5型

【参考】広島市におけるインフルエンザの定点当り報告数の推移



広島市における今シーズンのインフルエンザは、例年より遅く第3週から流行が始まった後急増し、第8週～第9週にかけてピークになりました。

その後減少していましたが、第13週に定点当り10人以下となつてからは、減少する割合が鈍り、第16週以後は逆に増加する傾向にあります。

この時期としては異例で、かなり報告数が多く、しばらくは注意が必要です。

本週報は、インターネットでもご覧いただけます。

URL <http://www.city.hiroshima.jp/shakai/eiken/center.html>

なお、速報性を重視していますので、今後調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。

この情報の詳細に関するお問い合わせ先

広島市感染症情報センター/広島市衛生研究所 〒733-8650 広島市西区商工センター四丁目1番2号

TEL(082)277-6575 FAX(082)277-5666 E-Mail eiken@city.hiroshima.jp

2005年第17週 (4月25日～5月1日)